



# 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会について

---

2023 年 4 月

神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会  
組織委員会事務局



## 第1章 神戸大会が目指すもの

### 1.1 はじめに

2019年4月、国際パラリンピック委員会より、2021年に開催される世界パラ陸上競技選手権大会の開催都市に神戸市が選出されました。

国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会が、東アジアで初めて開催されることとなったのです。

その後、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で2度の延期を余儀なくされましたが、新たな会期が決定し、神戸大会は、2024年5月に開催されます。

大会には、国内外から多くのパラアスリートとその関係者が集います。国内におけるパラスポーツのさらなる普及・発展や、障害に対する理解やバリアフリー化の促進など、インクルーシブ（障害者も健常者も共に生きる）社会の実現に寄与することが期待されます。

大会はまた、神戸のまちの魅力を全世界へ発信する絶好の機会です。訪れる人が神戸を楽しむことができ、地域への経済効果にもつながる、そのような大会を目指します。

### 1.2 大会基本理念

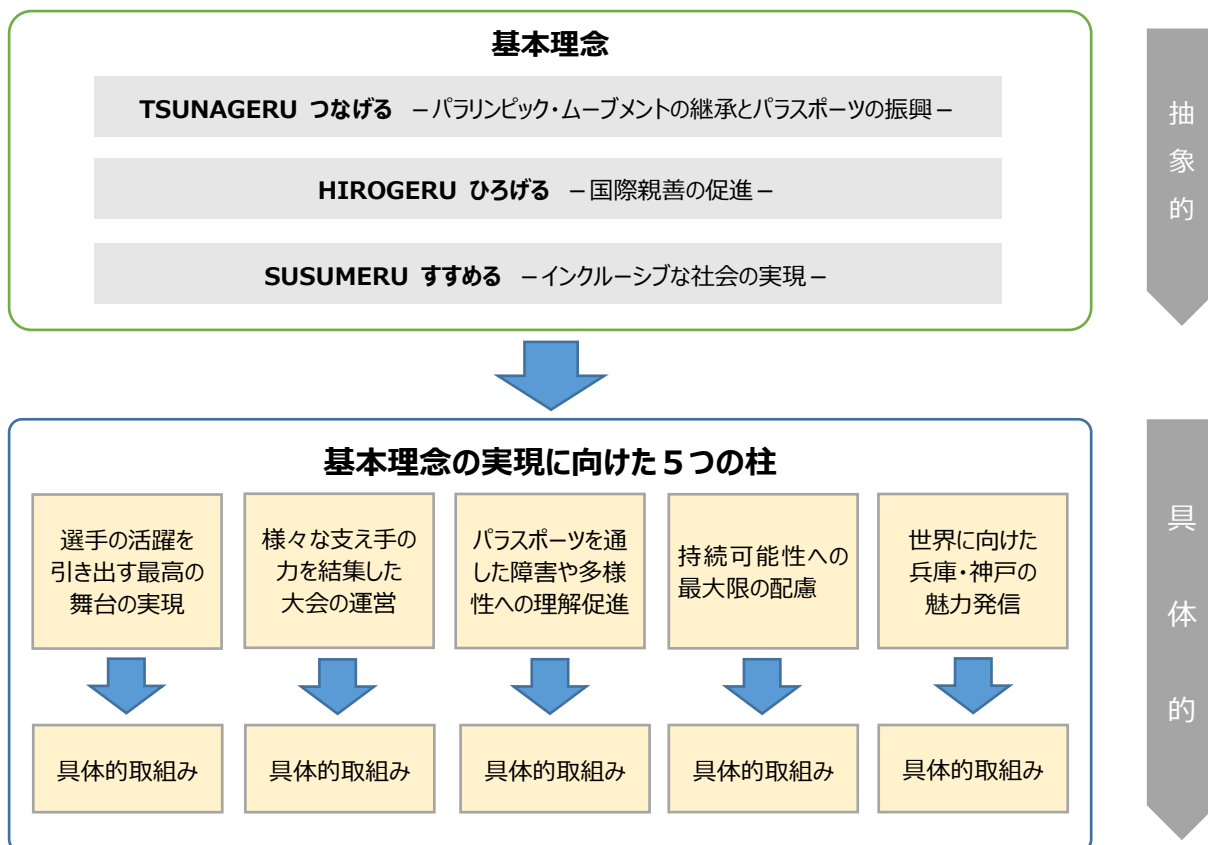
神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会では、大会の開催を通じて実現を目指す未来像を示すため3つの基本理念を定めています。

- ▶ TSUNAGERU つなげる – パラリンピック・ムーブメントの継承とパラスポーツの振興  
東京 2020 パラリンピックにおける感動や興奮を継承し、パラスポーツへの関心を高める。
- ▶ HIROGERU ひろげる – 国際親善の促進  
『国際スポーツ都市神戸』を世界に発信し、スポーツを通じた交流の輪を広げる。
- ▶ SUSUMERU すすめる – インクルーシブな社会の実現  
本大会をきっかけに、障害者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくりを進める。

### 1.3 大会基本理念の実現に向けた5つの柱

「基本理念」と、個別具体的な「取組み」の橋渡しをするため「5つの柱」を設定し、相乗作用を通して大会理念の実現を目指します。

これは、「5つの柱」に沿った明確な目的意識のもとで、具体的な取組みを展開することにより、大会価値の最大化を図るものです。



## 1.4 5つの柱のもとで行う具体的な取り組みの例

### 1.4.1 選手の活躍を引き出す最高の舞台の実現

- ・競技・練習会場の改修（ex, 補助競技場のレーン増設、大型映像装置の更新）
- ・パラ陸上競技用設備の新設（ex, 座位投てき用サークル）
- ・東京 2020 を経験した人材による医療サービスの提供
- ・選手と観客が一体となって盛り上がる効果的な会場演出

### 1.4.2 様々な支え手の力を結集した大会の運営

- ・大会運営に携わるボランティアの募集と育成
- ・地元の学校等と連携した応援プロジェクトの実施
- ・機運を醸成する戦略的なプロモーション活動の展開
- ・協賛や寄附を通じた支援の呼びかけ

### 1.4.3 パラスポーツを通じた障害や多様性への理解促進

- ・パラアスリートによる体験型授業の実施
- ・学校連携観戦の実施
- ・地元の学生による競技用器具の製作



## 1.4.4 持続可能性への最大限の配慮

- ・アクセシブルな会場設備の整備 (ex, バリアフリートイレ、点字ブロック、スロープの改修)
- ・環境への負荷が少ない運営 (ex, 照明の LED 化、燃料電池バスなどの活用)
- ・多様性への配慮 (ex, 宗教・文化に配慮した飲食の提供)

## 1.4.5 世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信

- ・会場周辺での観光案内・物産の展示販売 (マーケットストリートの設置)
- ・地元産農水産物を活用した食事の提供
- ・ユニバーサルツーリズムの発信

## 第2章 大会の概要

### 2.1 神戸 2024 世界パラ陸上選手権大会

#### 2.1.1 大会名称

日本語名称：神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会

英語名称：Kobe 2024 Para Athletics World Championships

#### 2.1.2 主催／運営

主催：国際パラリンピック委員会 (本部 ボン(ドイツ))  
(International Paralympic Committee, IPC)

※ 担当機関は、IPC の一部門である世界パラ陸上競技連盟  
(World Para Athletics, WPA)



運営：神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会

(Local Organising Committee of Kobe 2024 Para Athletics World Championships, LOC)

(会長) 増田 明美 (日本パラ陸上競技連盟 (JPA) 会長)

#### 2.1.3 開催期間

2024 年 5 月 17 日 (金) ～ 5 月 25 日 (土) 9 日間

※ 初日 (5/17) に開会式、最終日 (5/25) に閉会式を実施する予定

#### 2.1.4 参加人数 (見込み)

約 100 の国と地域から合計 約 2,300 人

- ・選手約 1,300 人 (うち 400 人は車椅子使用)
- ・役員約 1,000 人 (各国パラリンピック委員会、チームスタッフ等)

※ このほか IPC/WPA ファミリー (競技役員・スタッフ等)、メディア関係者が来日予定



## 2.1.5 来場者数（見込み）

9万人（1日1万人）

## 2.1.6 種目

種目数：約 170 種目（未定）

## 2.2 競技会場等施設の概要

### 2.2.1 競技会場

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場  
（所在地 神戸市須磨区緑台）



### 2.2.2 練習会場

- ①神戸総合運動公園 補助競技場
- ②神戸総合運動公園 球技場
- ③しあわせの村 多目的運動広場  
（所在地 神戸市北区しあわせの村）



## 第3章 開催に向けた準備

### 3.1 選手の活躍を引き出す最高の舞台の実現

大会の主役である選手のため、施設設備の整備や最新の知見を取り入れた競技運営はもちろん、選手と観客が一体になれる会場づくりなど、選手の活躍を最大限に引き出す最高の舞台を実現します。

#### 3.1.1 競技運営、メディカル（医療）、アンチ・ドーピング

〔ミッション〕

（競技運営）選手が大会期間中、遺憾なく実力を発揮できるような、世界大会にふさわしい高い水準の競技環境を準備します。

（メディカル）WPC や IPC によって示される要件や規定に従って、大会期間中、選手・役員・観客などに対して医療サービスを提供します。

（アンチ・ドーピング）IPC が国際基準に基づいて管理するドーピングコントロールプログラムの実施を支援します。また、アンチ・ドーピング教育プログラムを実施します



## 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 神戸大会の種目決定や選手のエントリーにあわせ、競技運営計画・競技スケジュール案を策定するとともに、競技役員の研修等を行い、大会の競技運営を実行します。
- 大会の医療・救急体制の構築に必要な計画を策定し、医師や看護師など医療スタッフの手配、後方支援病院の指定、医療機器・医薬品の調達準備等を進め、大会において医療サービスを提供します。
- 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）をはじめ関係機関と協議し、ドーピング検査や啓発プログラムの実施計画を策定するとともに、スタッフの確保など準備を進め、大会でドーピング検査や啓発プログラムを実施します。

## 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
競技運営	計画策定・実行	[Progress bar from 4~6月 to 4~6月]				
	競技スケジュール策定		[Progress bar from 7~9月 to 4~6月]			
	競技役員研修の実施	[Progress bar from 4~6月 to 4~6月]				
メディカル	計画の策定	[Progress bar from 4~6月 to 1~3月]				
	スタッフ・機器等の手配		[Progress bar from 7~9月 to 4~6月]			
アンチ・ドーピング	計画の策定・準備・実施	[Progress bar from 4~6月 to 4~6月]				

### 3.1.2 会場運営、セキュリティ

#### 〔ミッション〕

（会場運営） 競技会場と練習会場において、各 FA（Functional area 業務分野）の業務の全体像を把握し、安全・安心な会場運営となるよう調整を行います。

練習場、招集場所など会場内の配置場所を考慮し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる会場運営となるよう、安全かつ効率的な動線を策定します。

（セキュリティ） 関係機関と緊密な連携を図り、セキュリティを確保し、選手、観客、すべての大会関係者に対し、安全・安心で円滑な大会を提供します。

（ア krediteーション） 適切な資格を持つ大会関係者のみが、適切な方法で会場内の必要なエリアにアクセスすることを保証し、大会運営において必要な役割を効率的かつ安全に果たせる環境を提供します。

#### 〔主要事業（R5 年度～）〕

- リハーサル大会での実地検証や、関係団体との現地確認等を重ねて行いながら、選手や競技運営に配慮した、最適な諸室の配置や動線等を確定し、円滑な大会運営を実現します。
- 兵庫県警察をはじめ関係機関と緊密に連携し、会場警備等について、セキュリティ計画を策定するとともに、機材・スタッフの手配を進めます。
- 会場エリア内のアクセス管理等の実施に向け、ア krediteーション（入場資格認定）計画を策定するとともに、専用システムを稼働し、各国選手団のエントリーにあわせて、ア krediteーションカードの交付準備を進めます。



## 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
会場運営	諸室配置・動線の確定	■				
	大会実施計画書の作成			■		
セキュリティ	計画の策定	■				
	業者選定・機器等手配			■		
アクレディテーション	計画の策定	■				
	システム稼働			■		
各種設営・大会運営						■

### 3.1.3 施設、オーバーレイ（仮設物の設置）、ロジスティクス（物流管理）

#### 〔ミッション〕

（施設）ユニバーサルデザインを考慮した改修を行い、アスリートや観客の利便性の向上を図ります。

（オーバーレイ）競技場と周辺部における、大会運営に必要なテントや電源などの仮設物の設置及び撤去を行います。

（テクノロジー）リザルト、タイミング/スコアリングサービス、及び TV グラフィックス等の大会運営に必要なテクノロジーサービスの導入・運営を支援するとともに、大会関係者（選手、放送機構、プレス、及びライツホルダー、スタッフ等）に対して、快適かつ信頼性の高いテクノロジーシステムを提供し、運営・管理します。

また、サイバーセキュリティの確保に取り組みます。

（ロジスティクス）選手用具、計測・判定等に係るプロバイダー企業の機器など、大会期間中に必要とされる物品の運搬等を行います。

#### 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 陸上トラック等の施設改修を実施するほか、会場の美装化やアクセシビリティの改善を進めます。
- 会場施設に付加する仮設物（テント、ユニットハウス、車いすデッキ、トイレ等）や必要なシステム・情報通信インフラ等の設置計画を策定するとともに、資機材の手配等を進め、大会のための設営を行います
- 物品の運搬や保管、会場を出入りする車両の管理等について、計画を策定するとともに、各国選手団や海外事業者の国際輸送手続きを支援します。

#### 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
施設	トラック改修・美装化	■				
オーバーレイ	計画の策定・資機材手配	■				
	大会のための設営					■
テクノロジー	計画の策定	■				
	諸調整・システム運用支援			■		
ロジスティクス	計画の策定	■				
	諸調整・輸送支援の実施			■		



## 3.1.4 チケットing、イメージ&ルック

### 〔ミッション〕

（チケットing） チケットing計画を策定し、発券・販売及び大会当日のチケット販売ブース運営・ゾーニング・席案内業務等を実施します。

（イメージ&ルック） 大会ロゴ・キービジュアル及びそれらのガイドラインを制作し、商標等の知的財産権を管理するとともに、大会時の競技場装飾デザインを制作します。

### 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 競技会場の配席、チケットingの販売・配券方法等について計画を策定し、チケット販売を開始します。
- 商標登録など大会ロゴ・キービジュアルの適切な管理・活用を進めます。
- 大会ロゴ・キービジュアルを配置した大会ルック計画を策定し、会場装飾や大会関連グッズのデザイン作成を進めます。

### 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
チケットing	計画の策定	■				
	チケットの販売			■		
イメージ&ルック	商標登録・活用	■				
	装飾デザイン策定・製作	■				

## 3.1.5 セレモニー（式典）、プロトコール（接遇）NPC サービス（各国チーム対応）

### 〔ミッション〕

（セレモニー） 開会式・閉会式・表彰式を実施します。また、入賞者へ授与されるメダル、ブーケ、賞状を作成するとともに、式典で使用する国旗・国歌・式典用備品等について調達を行います。

（プロトコール） 本大会に関与するゲストに必要なサービス・おもてなしを提供します。

（NPC サービス） 各国パラリンピック委員会（National Paralympic Committee NPC）への窓口として、必要な情報共有を図りながら、公平公正なサービスを NPC に提供する業務を担います。

### 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 表彰式及び開閉会式の会場レイアウトや進行、演出等について、セレモニー計画を策定し、出演者との調整やメダルの作成等準備を進め、式典を円滑に実施します。
- ゲストに応じて必要なサービスを提供するため、プロトコール計画を策定するとともに、歓迎行事等の準備を進め、ゲストに対する適切な接遇を行います。
- コンディション調整等のための事前合宿実施を希望する NPC と、受入意向を持つ自治体等とのマッチングを行うなど、選手が万全の状態で大大会に臨めるよう支援します。
- ユニフォームや国旗・国歌の確認など、各国チームが大大会に参加するための手続きを行う選手団登録会議（Delegation Registration Meeting DRM）の運営を行います。





## 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
セレモニー	計画の策定	■	■			
	出演者調整・メダル作成			■	■	■
	開閉会式・表彰式の実施					■
プロトコール	計画の策定	■	■			
	歓迎準備・ゲスト接遇			■	■	■
NPC サービス	NPC からの問合せ対応	■	■	■	■	■
	事前合宿に係る調整	■	■	■	■	■
	DRM の運営					■

## 3.2 様々な支え手の力を結集した大会の運営

支え手として大会に関わった人々の記憶は、大会の貴重なレガシーです。神戸大会は、年齢や性別、国籍に関わらず広く参加を呼びかけ、市民をはじめ、多くの人々の力を結集して成功を目指します。

### 3.2.1 ボランティア

#### 〔ミッション〕

（ボランティア）大会成功の原動力の1つであるボランティアについて、募集、選考、研修、配置、必要備品類の調達等に関する業務を包括的に進めます。

#### 〔主要事業（R5 年度～）〕

- ボランティアの配置計画や募集に向けた広報計画を作成し、ボランティア募集を開始します。
- 応募者の選定を経て、研修を実施するなど、ボランティアの育成を進めます。
- ボランティアの活動拠点となるボランティアセンターの設置・運営を行います。

#### 〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
ボランティア	配置計画等の作成、募集	■	■			
	応募者の選定		■	■		
	研修実施、マニュアル作成			■	■	■
	ボランティアセンター設置・運営					■

### 3.2.2 広報・プロモーション、ブロードキャスト（放送）・報道

#### 〔ミッション〕

（広報プロモーション）大会の認知度を高め、機運を醸成するとともに、多くの方々のチケットの購入・スタジアムでの観戦につながるよう、各種広報・プロモーションを実施します。

（ブロードキャスト）IPC と日本国内制作局との調整を行い、必要な撮影体制の整備、撮影素材の確保と、映像の配信を実施します。

（メディア運営）報道関係者（記者、フォトグラファー、テレビ、ラジオ、等）が、大会会期中に試合会場において円滑に取材活動が行えるよう、環境整備及びサービスの提供を行います。



## 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 大会の認知拡大や観客の増加を図るため、広報戦略について情報発信計画を策定します。神戸市内外で開催される各種イベントへのレーサー（競技用車いす）や競技用義足などの体験型 PR ブースの出展を拡充するほか、SNS を活用した効果的な情報発信や、メディアへの露出を進めるなど、より多角的な広報を展開します。
- 開幕までの節目（大会 1 年前/100 日前等）の機会を捉まえてイベントを開催するなど、効果的に大会への期待度を高めます。加えて、屋外広告や交通広告など都市装飾を充実するとともに、新デザインのポスターなどを関係団体の協力も得て全国展開していくことで、タッチポイントの拡大を図ります。
- 大会の国際放送実施に向けて、国際映像を制作するホストブロードキャスターを指名し、撮影体制等について計画を策定するとともに、映像配信に関する国内外の放送局との調整を進めます。
- 報道関係者（TV、ニュース記者等）に提供するサービス内容やメディアセンターの設置について、メディア運営計画を策定し、報道関係者が円滑に取材活動を行える環境を整備します。

## 〔業務スケジュール〕

		令和 5 年			令和 6 年	
		4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月	4~6 月
広報プロモーション	情報発信計画の策定	■				
	HP・SNS の運用	■	■	■	■	■
	PR 活動・イベントの実施	■	■	■	■	■
ブロードキャスト	撮影・配信計画の策定	■	■	■	■	
	大会での配信準備・配信					■
メディア運営	計画の策定		■	■	■	
	メディアセンターの設置・運営					■

## 3.2.3 マーケティング

### 〔ミッション〕

（コマーシャル・マーケティング）スポンサー・サプライヤーを獲得して財源・VIK（Value in Kind 現物提供）を確保し、適切に契約を履行します。

ライセンスによる商品化促進・流通を通じた大会の認知度向上と機運醸成を図るとともに、公式グッズ及びライセンス商品等の制作・販売を実施します。

## 〔主要事業（R5 年度～）〕

- 大会スポンサー及び企業版ふるさと納税（寄付）の獲得に向けた、企業へのセールス活動を実施します。

## 〔業務スケジュール〕

		令和 5 年			令和 6 年	
		4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月	4~6 月
マーケティング	スポンサーセールス活動	■	■	■	■	■



### 3.3 パラスポーツを通じた障害や多様性への理解促進

市民、とりわけ次代を担う子どもや若者にとって、障害や多様性への理解を深める契機となるよう、パラスポーツの応援やパラアスリートとの交流の機会を広げ、インクルーシブ社会の実現につなげます。

#### 3.3.1 交流（都市活動）事業

〔ミッション〕

（都市活動）おもてなしや交流を通して、地域コミュニティが大会の価値を共有する機会と、訪問者（チーム・選手・神戸市内、市外の観客）が開催都市の魅力を体験できる機会とを創出します。

〔主要事業（R5 年度～）〕

- パラスポーツへの関心を高め、障害や多様性への理解を深められるよう、学校や地域コミュニティでパラスポーツの体験型授業やパラアスリートとの交流活動を実施します。
- 神戸市内を中心に兵庫県下の学校を対象に実施する学校観戦会に向けて、計画策定や各学校への意向調査を行うとともに、教育委員会・学校との調整を進めます。

〔業務スケジュール〕

		令和 5 年			令和 6 年	
		4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月	4~6 月
交流事業	体験型授業・交流活動					
	観戦会の企画・計画策定					

### 3.4 持続可能性への最大限の配慮

神戸大会では、環境負荷低減の取組みをはじめ、アクセシビリティの確保や、多様性に十分配慮した運営を行います。

#### 3.4.1 施設

〔ミッション〕\*再掲

（施設）ユニバーサルデザインを考慮した改修を行い、アスリートや観客の利便性の向上を図ります。

〔主要事業（R5 年度～）〕

- 陸上トラック等の施設改修を実施するほか、会場的美装化やアクセシビリティの改善を進めます。

〔業務スケジュール〕

		令和 5 年			令和 6 年	
		4~6 月	7~9 月	10~12 月	1~3 月	4~6 月
施設	トラック改修・美装化					

#### 3.4.2 宿泊、ケータリング（食事）、交通輸送、出入国

〔ミッション〕

（宿泊）大会主催団体、各国選手団、競技役員等の宿泊施設を確保して部屋を割り当てるとともに、各宿泊施設においてケータリングを提供します。

（ケータリング）競技会場および練習会場においてケータリングを提供/販売します。また、各会場で提供されるケータリングのサービスレベルを審査します。

（輸送）大会主催団体、各国選手団、競技役員等に対して安全で円滑な輸送サービスを提供します。

（出入国）大会主催団体、各国選手団、競技役員等に対して必要な出入国支援を行います。



〔主要事業（R5 年度～）〕

- 宿泊計画を策定し、宿泊ガイドを公開するとともに、予約受付を行い、配宿先を決定します。また、宿泊者の滞在期間に合わせて、宿泊施設でケータリングを提供します。
- ケータリング計画を策定し、大会本番に向けて必要な手配・調整を進めます。大会期間中は、競技会場および練習会場においてケータリングを提供します。
- 輸送計画を策定し、輸送車両の手配など必要な諸調整を進めます。大会期間中は、公式空港・駅～宿泊施設～競技会場・練習会場間で輸送サービスを提供します。
- 選手・関係者等の査証申請を支援します。

〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
宿泊	計画の策定	■				
	宿泊ガイド作成・公表		■	■		
	各国選手団の配宿調整			■	■	■
	宿泊・ケータリングの提供					■
ケータリング	計画の策定	■	■	■		
	ケータリング手配・諸調整	■	■	■	■	■
	会場でのケータリングの提供					■
輸送	計画の策定	■	■	■		
	車両の手配・諸調整	■	■	■	■	■
	輸送サービスの提供					■
出入国	査証申請支援				■	■

### 3.5 世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信

世界各地から兵庫・神戸を訪れる人々にまち・人・文化の魅力を発信します。兵庫・神戸での体験やおもてなしを通じて、日本の魅力を感じてもらえるよう取り組みます。

#### 3.5.1 交流（都市活動）事業

〔ミッション〕＊再掲

（都市活動）おもてなしや交流を通して、地域コミュニティが大会の価値を共有する機会と、訪問者（チーム・選手・神戸市内、市外の観客）が開催都市の魅力を体験できる機会とを創出します。

〔主要事業（R5 年度～）〕

- 大会本番において、兵庫・神戸の魅力を世界に発信するため、チーム・選手・関係者に観光案内を提供するとともに、神戸市内外からの観客に対してブースやチラシ等で観光情報を提供します。

〔業務スケジュール〕

		令和5年			令和6年	
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
交流事業	選手・観客等への観光情報提供					■





## 第4章 推進体制

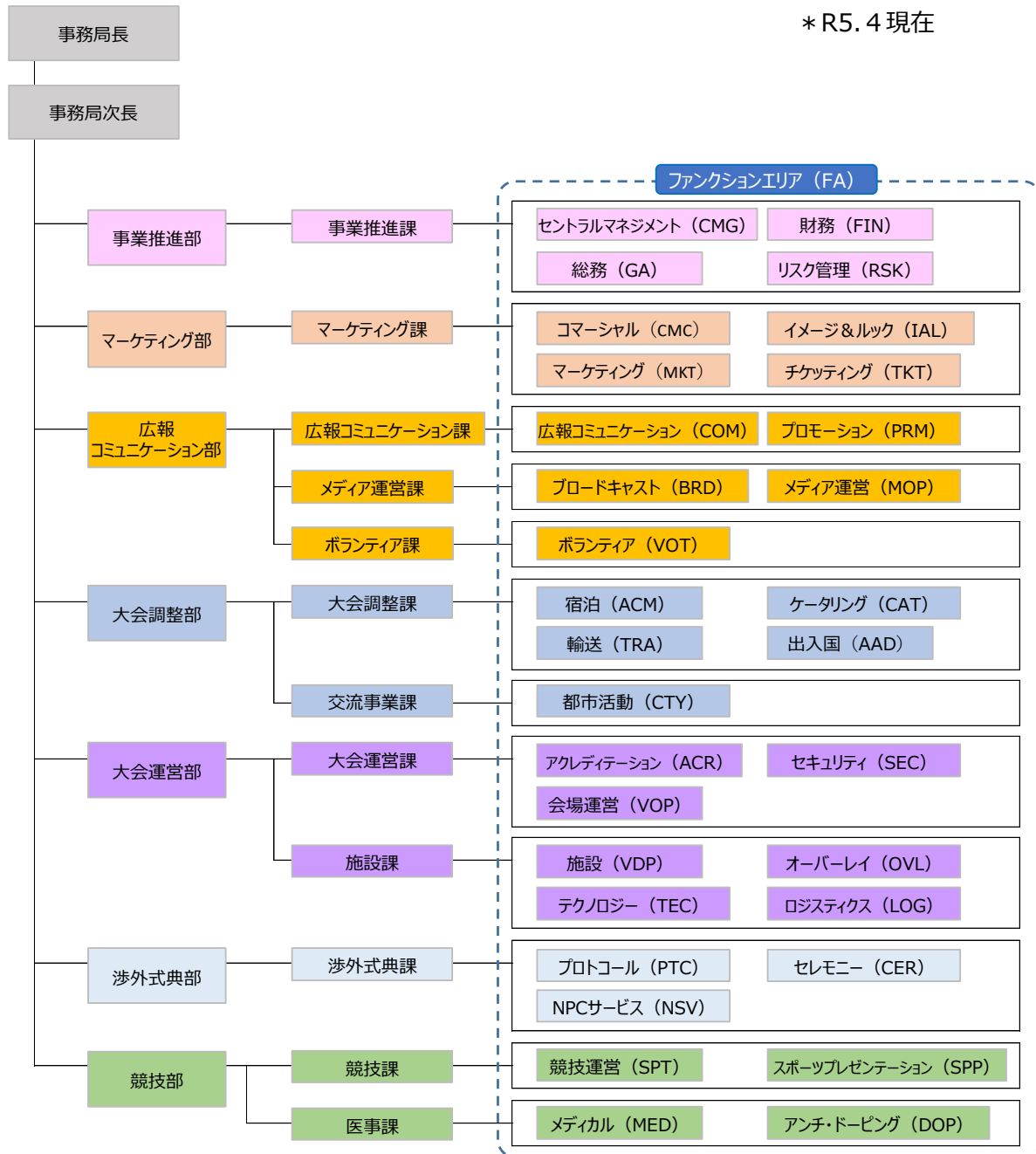
### 4.1 組織委員会組織図 \*R5.4 現在

KOBE2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会 (LOC)		
会 長	(一社) 日本パラ陸上競技連盟会長	増田 明美
副会長	神戸市長 (開催都市市長)	久元 喜造
	兵庫県知事	齋藤 元彦
	日本パラリンピック委員会会長	森 和之
	(公財) 日本陸上競技連盟会長	尾 縣 貢
	(一社) 兵庫陸上競技協会会長	吉井 道昭
	神戸商工会議所副会頭	尾 山 基
	(株)神戸新聞社代表取締役社長	高梨柳太郎
委員兼事務局長	1名 (神戸市文化スポーツ局長 (スポーツ担当))	
委 員	22名	
監 事	2名 (神戸市会計管理者・兵庫県会計管理者)	
顧 問	4名	



## 4.2 事務局組織図

KOBE2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局は、業務の進捗や予算、入場資格（ア krediyeteshon）等を管理するために設けられるファンクショナルエリア（FA）を基本に組織されている。



# 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会について



## 4.3 業務推進スケジュール

区分	各種実施計画策定				計画内容実行				最終準備	大会	
	1～3月	4～6月	7～9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月
主なスケジュール		リハーサル大会 (4月) 組織委総会	パリ2023 世界パラ陸上 (7月)						組織委総会		
	競技運営計画策定										
競技		競技役員・競技会での 実践研修							備品等準備・審判マニュアル作成		
会場									大会実施計画、仮設物等計画の策定・資機材手配		設置
ボランティア		配置計画策定・募集		選定・採用					トラック改修・バリアフリー改修		
広報・プロモーション									ホームページ・SNS 等での情報発信、PR 活動・イベントの実施		
マーケティング・チケット팅									マーケティングセールス推進		
交流（都市活動）									チケットの販売（協賛スポンサー・一般）		
宿泊・輸送									体験型授業、交流活動の実施・観戦会の企画、準備		
		宿泊計画策定	宿泊ガイド作成・公表						各国選手団の配宿・宿泊施設との調整		
									輸送計画策定		各種調整・手配